

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年二月度 入選句（投稿総数二千百五十五句・一般投句数七百十句）

特選

湧水を水車に集め冬の飛驒 大垣市 官川 浩

冬の飛驒は雪も多くとても寒い。生活には山水を使うため氷らぬやう水車に集め何時も動かしていると思う。家々には水舟を作り一の水舟は炊事に二の水舟は洗い物にと何時も流れている大切な水である。飛驒の暮しが見えてきます。秀句ですね。

竹の簾に波をあそばせ紙漉女 福井県敦賀市 山田 美千代

紙漉きの作業がよくわかります。今年はおリンピックもあり、其の表彰状に美濃の和紙が使われるとの事とても光栄に思います。「波あそばせて」ゆらゆらと揺らす白い波も手馴れた方の見ているだけでも美しく思います。冬は大変ですね。良くまとまった御句です。素敵な佳句です。

春立つや巒びんと立つコック帽 大垣市 官脇 和子

季語が良く和してあると思います。あの高いコック帽の真っ白くしつかりと立つた清潔な帽子を見るだけでも素敵なお料理を想像させます。春に相応しい秀句と思います。

秀逸

春光や砂時計又逆さにす 大垣市 日比野 友子

宅急便ここにサインと息白し 大垣市 大杉 すみゑ

雪の白どう伝えるの点字では 大垣市 杉山 はるみ

駅伝の襷をつなぐ白い息 大垣市 宇津 香代子

沈黙を破るごとくや野梅咲く 大垣市 佐藤 すみ子

浅春の匙に崩るるラテ・アート 神奈川県大和市 岩田 爾瑠

日の匂ひ残る幸せ干蒲団 不破郡垂井町 久保田 紘義

その音色龍吼に似たり除夜の鐘 不破郡垂井町 川瀬 慶泉

一年を丸めて貰ふ新暦 揖斐郡池田町 木塚 しょう

裏返る声の披講や初句会 愛知県豊田市 城山 憲三

入選

茶畑のまわる風車の霜の朝
人に流されたどりつく初詣
ごほうびに自分のための冬苺
せち作る祖母の智慧をば借りにけり
夫の愚痴聞くふりをしておでん鍋
道すがら一句まとめて初句会
熱爛にほろと崩れし夫の意地
雪のない伊吹目がけて球を打つ
ねえ見ると君と見上げたオリオン座
吊り橋は定員二百もがり笛

安八郡神戸町
大垣市
大垣市
大垣市
大垣市
揖斐郡池田町
不破郡垂井町
不破郡垂井町
大垣市
大垣市

早津 郁男
岩永 フヂ子
娑 婆
宮川 浩
平野 きぬよ
木塚 しょう
中嶋 笑子
小坂 久美子
岩田 帆香
安福 けい子

入選

独杯や遠き近きの除夜の鐘
葱坊主己がおれがと首伸ばす
梅の香に誘はれ知らぬ門先に
天を突く放水しかと出初式
はつしと斧打つや杣人寒の明け
教室は三階ですと冬すみれ
天からの贈り物かも六つの花
炬燵から指示命令や古女房
拝殿の屋根よりこぼれ初雀
一言がうれし賀状の余白かな

大垣市
大垣市
大垣市
大垣市
大垣市
大垣市
大垣市
大垣市
大垣市
安八郡神戸町
福岡県福岡市

杉山 はるみ
村田 通夫
野村 みち代
坪井 克枝
臼井 秀子
岡田 あや子
新町 恵子
澤井 国造
高橋 泰
大津 英世

選者吟

海鳴りを聞き乱れ咲く野水仙

美代子